

はじめに

はじめまして。

上田公子（サイキックヒーラー Kimiko）です。

私はお寺に生まれ、結婚し、二人の男の子に恵まれました。

そして1990年、パティシエの夫と「ソルシエル」というケーキ屋を始めました。

ソルシエルとは、フランス語で「魔法使い」という意味です。

福岡で25年間ケーキ屋を営み、その後、隣にカフェを開きました。

気がつけば、自営業として35年になります。

2025年現在、カフェは10年を迎え、松林の前にあるそのカフェを「ソルシエルカフェ & Wizard Clinic」という心と身体を調整する場としても活用しています。

Wizard Clinicとは、「魔法使いのクリニック」という意味です。

珍しい松葉ジュースや麹水、玄米ランチを楽しみながら、

無料のレイキヒーリングやイネイト活性療法を受けて心や身体が軽くなったと帰っていく人たちが、

今も次々と訪れています。

「インサイト活性療法」を通して、脊柱管狭窄症と診断されたけれど手術を選択せず経過を見ながら過ごされている方や、リウマチによる長年の痛みを抱えるなかで身体の変化を感じたと話される方、睡眠に關して変化を感じたとおっしゃる方もいらっしゃいます。

その場でご自身の身体の変化に気づき、驚かれる方が多いのが印象的です。

私は現在、3つの講座を行い、東京や大阪へ通いながら、ライトワーカーとして育っていく方々を見守っています。

けれど――

私はこんな未来を望んでいたわけではないのです。

私はただ、夫婦で仲良くケーキ屋を続けていきたかっただけ。

「ヒーラーさんですよね？」

そう聞かれても、私はずっと、

「いえ、ケーキ屋です」

と答えてきました。

ヒーラーと呼ばれることも、

先生と呼ばれることも、

正直、抵抗がありました。

ヒーラーや講師になりたくてなったわけではなかったからです。

それでも人生は、静かに、けれど確実に、私を“癒やす側”へと導いていきました。

吉岐神社

松原の海

神功皇后の気配

瀬織津姫様の気配

自然の中に立つたびに、

“なぜ私はこの道を歩いているのか”

その理由が、やっと少しずつわかっていきました。

講座の中で“先生”と呼ばれるうちに、ふと気づいたのです。

「先生とは、偉い人のことではなく、自分より少し先を生きている人」

その意味なら、

私は「先生」と呼ばれることを受け取ってもいいのかもしれない——そう思えるようになりました。

望んだわけではなく、ただ導かれただけ。

意識はそうであっても、魂は知っていたのでしょうか。

ケーキ屋としておいしいもので人を癒やし、

やがてヒーラーとして心身ともに癒やす側に立つことを。

気がつけば「ソルシエールカフェ」は、

「ソルシエールカフェ & Wizard Clinic」へと姿を変えていました。

すべては、最初から決められていた道のように、

一つにつながっています。

この本では、私がなぜここまで遠回りをしたのか。

その中で何を学び、いつ“本当の自分”に戻ったのか……いえ、もしかすると今も戻り続けているの
かもしれません。

そして、

“なぜ、本当の自分で生きると人生に魔法が起き始めるのか”

“魔法とはなんなのか？”

その仕組みを、私の体験を通して書いていきます。

ただ、ケーキ屋としての人生を歩みたかっただけなのに、いつの間にか魔法使いにもなっていました。
でもこれは、私だけが持つ特別な才能の話ではありません。

“誰もが自分に戻れば使える「魔法」”なのです。